

白内障

より豊かな人生を送るために



山 口 県 医 師 会
山口県医師国民健康保険組合

目 次

1. 白内障とは
2. 白内障のタイプ
3. 白内障の原因
4. 白内障の症状
5. 白内障の治療
6. 白内障の手術
7. 手術後の見え方
8. 手術後の経過と注意点
9. 最後に

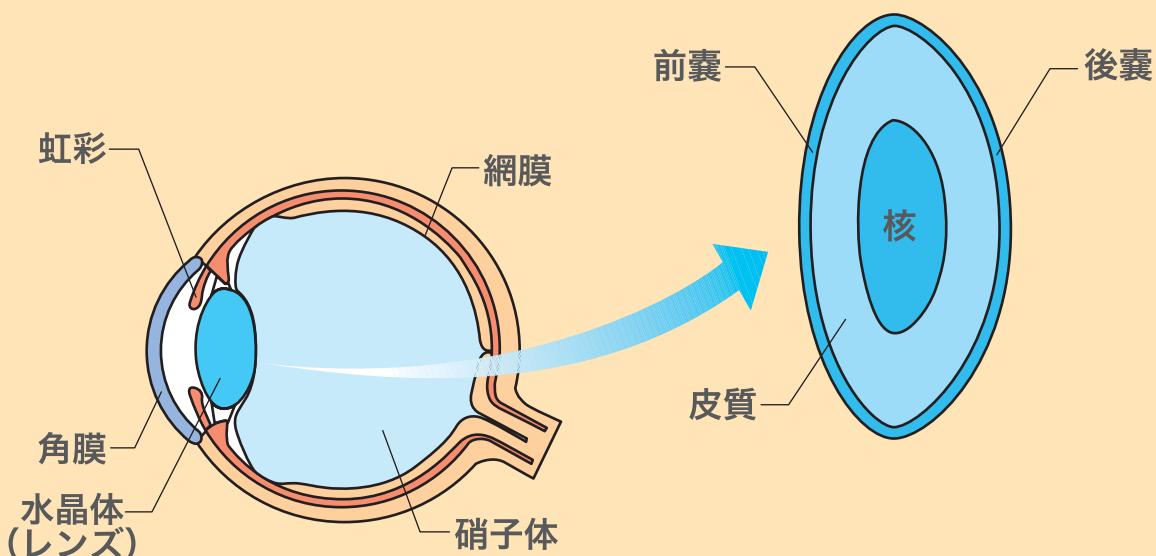
1. 白内障とは

眼球はよくカメラに例えられますが、カメラのレンズに相当する部位が水晶体です。正常な水晶体は、透明で光をよく通します。

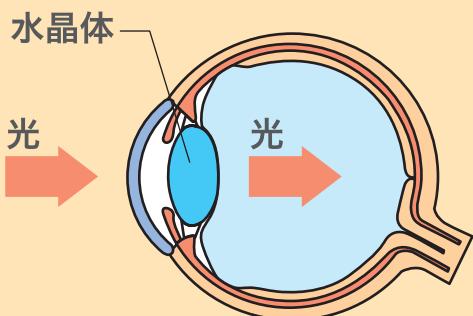
白内障とは、本来透明なはずの水晶体が濁ってくる病気です。

水晶体が濁ってくると、すりガラスを通して物を見るようになるため、網膜(フィルムに相当)に鮮明な像が結べなくなり、視力が低下します。

●目の構造

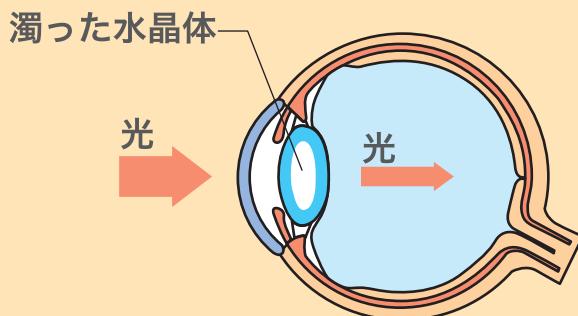


正常な眼球



水晶体は透明で、
光をよく通す。

白内障の眼球



水晶体が濁ってくると、
光がよく通らなくなる。

2. 白内障のタイプ。

水晶体は、中心部に存在する核と、その周囲にある皮質と、水晶体を包む被膜からできています。白内障は濁りの生じる部位から、主に2種類に分類されます。しばしば両者の合併もみられます。

	皮質白内障	核白内障
濁る部位	水晶体の周辺部	水晶体の中心部
症 状	<ul style="list-style-type: none">濁りが中心部に広がると、かすみやまぶしさを生じる。	<ul style="list-style-type: none">一時的に近くが見やすくなる。濁りが強くなると、かすみを生じる。

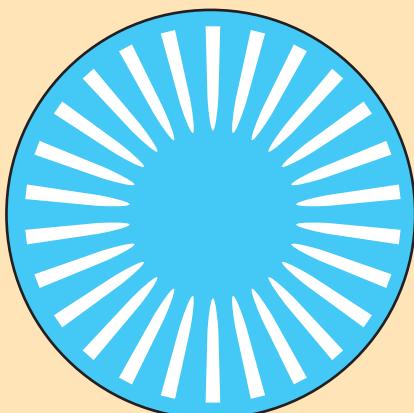
皮質白内障

核白内障

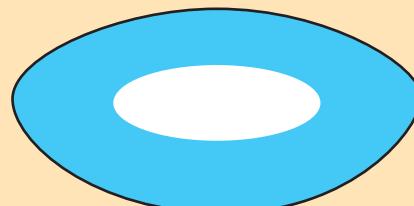
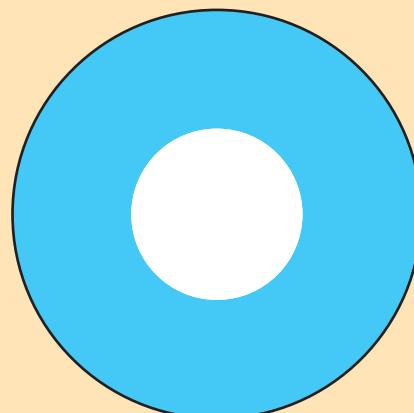
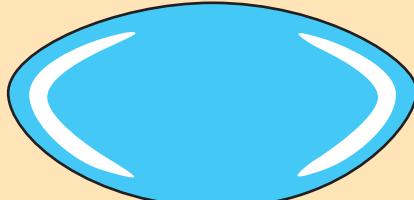
皮質の濁り

核の濁り

前面



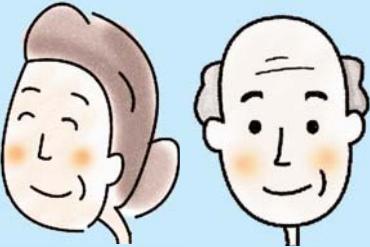
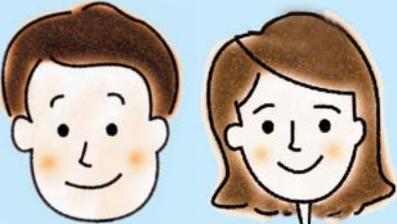
側面



3. 白内障の原因

白内障は様々な原因によって起こりますが、加齢によるものが最も多くみられます。50歳代から増え始め、80歳代ではほとんどの方に白内障が生じているとされています。

●白内障の種類と原因

白内障の種類	原 因
加齢性白内障	加齢が原因。 白内障の中で最も多い。 
全身疾患に 合併する白内障	アトピー性皮膚炎 糖尿病など 若年者にも多い。 
先天性白内障	母体が風疹などのウィルスに感染することで、 生まれつき白内障になる。
外傷性白内障	目のけが
その他	ぶどう膜炎、薬剤(ステロイド剤)、放射線

4. 白内障の症状

水晶体が濁ってくると、すりガラス越しに物を見ることになり、視力が低下します。

主な症状としては、次のようなものがあります。

- **かすんで見える** : 水晶体の濁りが中心部に広がるとかすみが生じます。
- **まぶしくなる** : 濁った部分で光が乱反射するためまぶしく感じます。
- **近くのものが見やすくなる** : 中心部の核の濁りが強くなると近視が進みます。
- **二重、三重に見える** : 水晶体による乱視が生じます。

1 かすんで見える



2 まぶしくなる 明るいところで見えにくい



3 一時的に近くが見えやすくなる 眼鏡が合わなくなる



4 二重、三重に見える



5. 白内障の治療

白内障の程度が軽く、日常生活にあまり支障がない場合には、進行を遅らせる点眼薬を使用することがあります。しかし水晶体の濁りは、点眼薬を使用しても取り除くことはできません。

白内障が進行すれば手術を行います。白内障手術の進歩により、以前に比べ手術を安全に行えるようになりました。いつ手術を受けるかは、その人が不便を感じた時期でよいと思われます。

具体的には「カレンダーの数字がぼやける」「テレビの字幕が見えない」「視力が低下して仕事に支障がある」「外に出るとまぶしくて見えづらい」「視力が0.7以下になり運転免許の更新ができない」などの症状があれば手術を考えましょう。

こんな時は手術を考えましょう！



視力が低下して、
仕事に支障がある。



視力が0.7以下になって、
運転免許の更新ができない。



外ではまぶしくて、
極端に見えづらい。

6. 白内障の手術

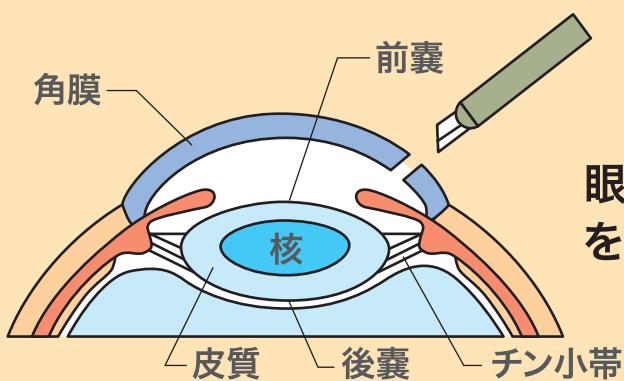
最近の手術は、約3mmの創(きず)から濁った水晶体の中身を超音波で砕いて吸い取り(超音波水晶体乳化吸引術)、人工のレンズを水晶体の囊(ふくろ)の中へ挿入します。手術は局所麻酔で行われ、痛みはほとんどありません。

高血圧や糖尿病などの疾患のある人も、内科的な治療によりコントロールがきちんとされていれば、白内障手術は安全に行えます。また、手術中の出血はわずかですので、バイアスピリンやワーファリンなどの抗血小板薬、抗凝固薬の内服は、手術の当日も継続したままで特に問題ありません。

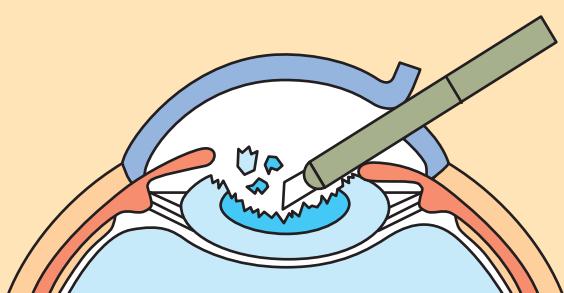
患者さんの全身状態に問題なく、通院が可能な場合は、施設によつては、日帰り手術も行われています。



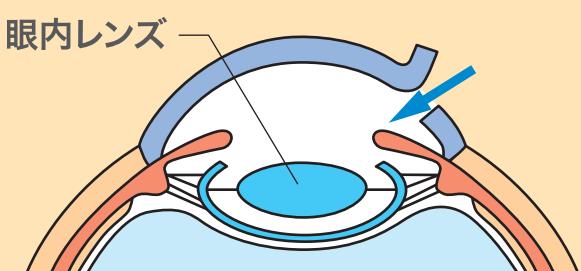
●超音波水晶体乳化吸引術



眼球を切開し、水晶体の前囊を切り取る。



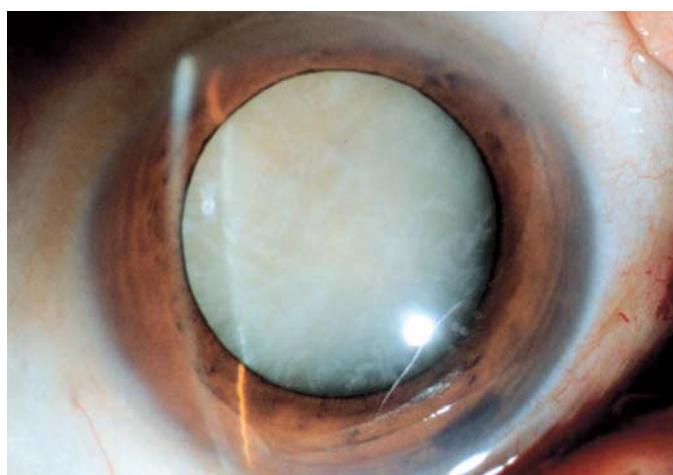
水晶体の核と皮質を超音波で碎き、吸引して取り出す。後囊とチン小帯は残す。



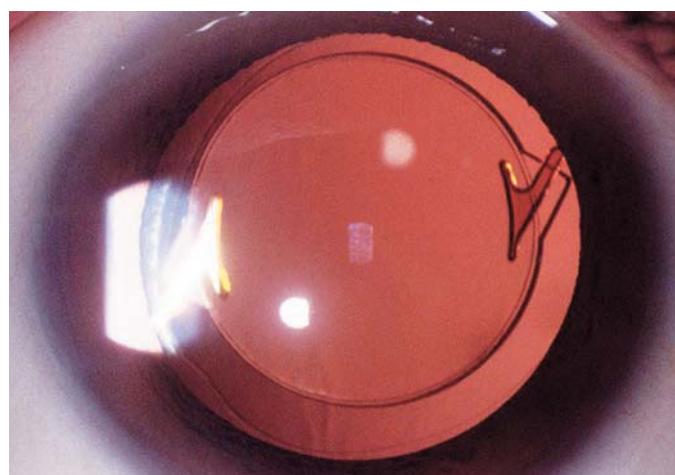
残した後囊の中に、眼内レンズを挿入する。

眼内レンズ

レンズは直径6mm程で、後囊に固定するためにループがついています。眼内レンズをいったん挿入すれば、取り替える必要はありません。



手術前



手術後

7. 手術後の見え方

現在主流の眼内レンズは、調節の機能がなくピントを1カ所にしか合わせられないで、遠くが見やすいレンズにするか、近くが見やすいレンズにするかを、手術前に医師と相談して決める必要があります。

通常は眼鏡なしで遠くがよく見えるレンズを挿入しますが、この場合は手もとがぼやけますので、老眼鏡が必要になります。近くの作業の多い方や読書の好きな方では30cmくらいの距離にピントを合わせる場合もあります。この場合は遠くがぼやけますので遠用眼鏡が必要になります。

8. 手術後の経過と注意点

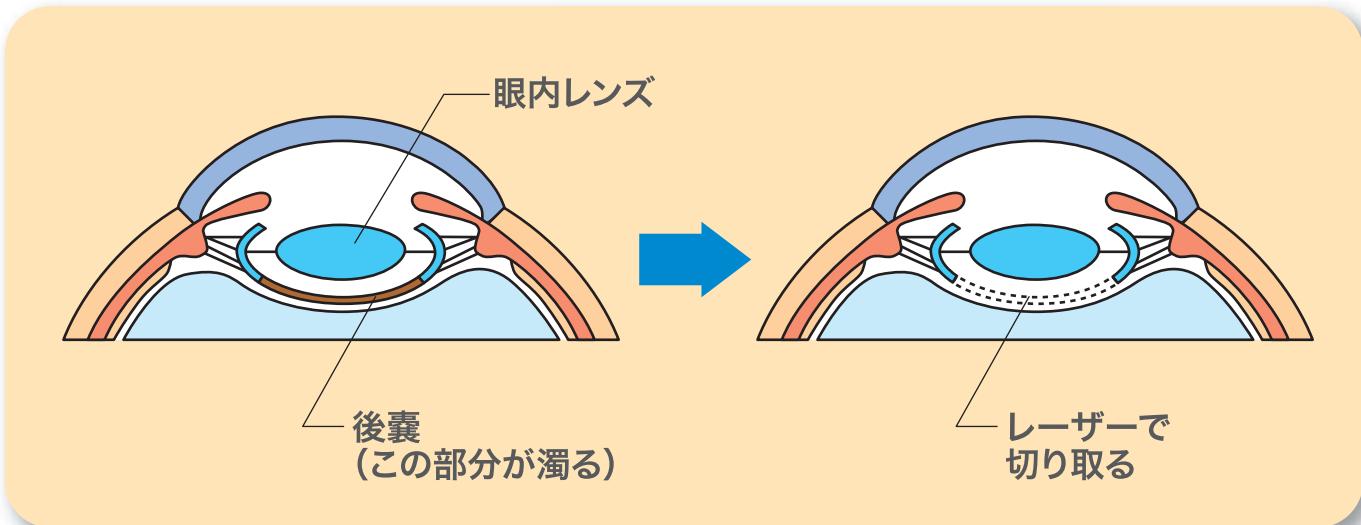
手術後1～3カ月間は、炎症を抑え、細菌感染を予防するために医師の指示どおりに点眼薬を使用します。

手術後は、充血や出血のため目が赤くなることがあります、徐々によくなります。また数日間は目がゴロゴロする、目がかすむなどの症状がでることがあります。

手術後1カ月ほどで視力が落ち着いてくるため、この時期を過ぎて眼鏡をつくるとピントの合いにくかったところが見えるようになります。

手術後、数カ月から数年して、眼内レンズを包んでいる水晶体の後嚢^{にご}が濁ってきて、再び視力低下や目のかすみを生じことがあります。これは、後発白内障^{にご}と呼ばれ、頻度は1～10%程度とされています。レーザー治療を行い、濁った後嚢に孔を開けると視力は回復します。

【後発白内障のレーザー治療】



●手術後の注意点



入浴や洗顔は
1週間くらい避ける。



転ばない
ぶつけない。



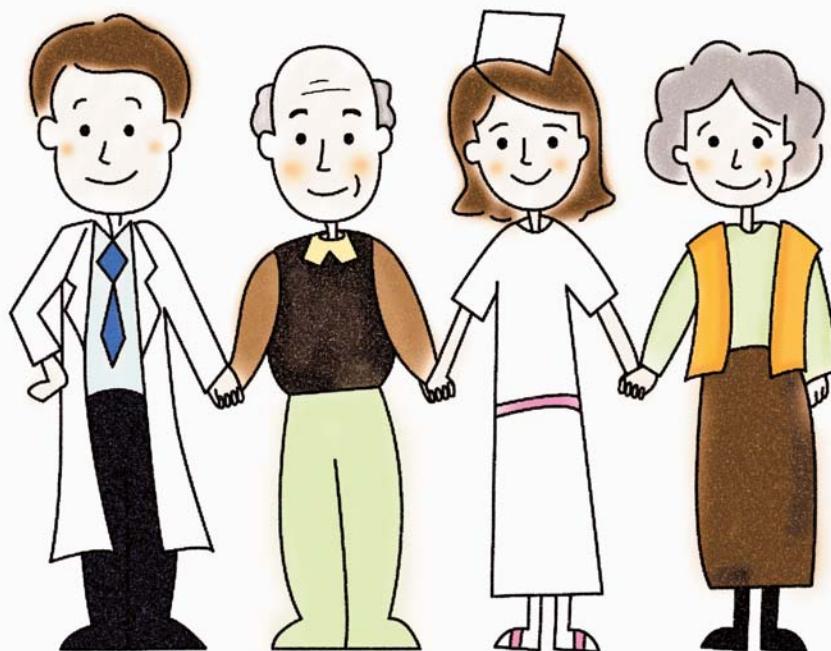
目を押したり、
こすったりしない。

9. 最後に

私たちは、五感によって外界の情報を得ています。なかでも目からの情報は約80%を占めると言われており、目はとても大切な情報源です。

白内障手術を受けた多くの方は、手術の翌日から、若い頃の鮮やかな見え方を実感でき、その劇的な変化に驚かれます。視力の改善は、日常生活における自立性を取り戻し、より豊かな人生を送ることにつながります。

白内障について正しく理解していただき、皆様の大切な目を守るためにこのパンフレットがお役に立てれば幸いです。



毎月7日は県民健康の日